



# 六郷中だより

六郷中学校だより 第12号  
令和 3年11月 2日  
発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



## 「出会い」 & 「あいさつ 聞き方 言葉遣い」

学校周辺のケヤキやイチョウなどの木々も色づき、いよいよ秋本番を迎えています。そんな秋の深まりに合わせたかのように、9月以降、山梨県のみならず全国において、新型コロナウイルスの感染状況の減少傾向が続いています。そのため山梨県ならびに市川三郷町で定める地域感染レベルが、ともにレベル1となり最新の知見の感染症対策をとりながら、教育活動を徐々に再開できるよう、検討しているところです。

当初は4月に予定し、感染症の拡大により実施を延期していた2年生の「県内巡り」も、感染者が減少してきたため、感染症対策を十分にとる中、10月26、27日の1泊2日の日程で、実施することができました。今回の県内巡りでは、甲府市ならびに甲州市方面を訪ね、学校を離れての宿泊を伴う集団生活や、グループ行動をとおして、歴史的文化財や施設等を見学しながら、山梨の歴史・文化についての学習をする機会となるよう行いました。さらには、3年生に進級してから実施する関西方面への修学旅行にもつなげるねらいもありますので、2年生たちがこの時期に県内巡りを体験することができたことは、貴重な体験になったと考えています。

また、3年生の「修学旅行」についても、少しでも安心・安全の中で実施できるよう、感染症の拡大のため今まで日程を2度延期してきました。幸い直近の1ヶ月の間に、訪問先の感染状況が、かなり改善されてきたことから、このたび、予定していた奈良・京都方面への11月3日からの2泊3日の修学旅行の実施が可能と判断いたしました。しかし、修学旅行先は県外の観光地でもあることから、感染症対策に万全を期すため、グループ見学やタクシー見学を全体見学へと変更し、行程のすべてにおいて、引率する教職員とともに見学し、感染症対策の徹底が図れるようにしました。今となってみれば、感染状況を見通すことが難しい状況の中、2つの校外行事が日程こそ変更しましたが実施できることとなり、胸をなで下ろしているところです。

先日、県内巡りと修学旅行に先だって実施された全校集会の折りに、1年生も5ヶ月後には2年生に進級し、県内巡りを体験することから、全校生徒にむけて次のようなお話をしましたので、その一部をご紹介します。



今回の修学旅行で大切にしてほしいこと。それは「出会い」です。

皆さんは奈良・京都と遠方の地を訪ね、訪ねた先の人のお話や説明を聞き、食事をいただくなど、たくさんの人に出会い、その方々の世話になりながら3日間を過ごします。また、長い年月を経た建物や仏像なども当時の制作にかかわった人たち、今日まで大切に守り抜いてきた人たち、そして、それらを心のよりどころにしている人たちとの出会いもあるはずです。

さらに皆さんが修学旅行での出会いをとおして、自分自身の気持ちの変化や、成長に気づく事ができたら新しい自分自身との出会いもあるかもしれません。仲間との新しい出会い、修学旅行に送り出していただいた保護者の皆さんの思いにもふれることができるかもしれません。ぜひ、3日間の修学旅行において、素晴らしい出会いをたくさんしてみてください。

一つひとつの出会いが、素晴らしい出会いとなるために、心がけてほしい姿勢を、うまく言い表している言葉を3つ紹介します。それは「あいさつ」「聞き方」「言葉遣い」。ぜひ、3つの姿勢を心がけて、見学や行動をしてみてください。皆さん一人ひとりが、出会いをとおして大きく成長することができる有意義な修学旅行となるよう期待しています。